

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)で寛解維持されている症例の中で胎児性Fc受容体標的薬(FcRn-I)へ変更可能な症例の特徴に関する検討
研究責任者	齊藤 喬
研究実施体制	脳神経内科所属の医師
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月
対象者	2010 年 1 月から 2025 年 3 月までの間に当院で CIDP と診断された患者さん
研究の意義・目的	CIDP は末梢神経のミエリン構成成分に対する自己免疫によって発症すると考えられており、特に免疫グロブリン療法が標準治療として確立されていますが、免疫グロブリンは生物学的製剤であるがゆえに世界的に供給が不足しており、今後代替治療が望まれています。昨今本邦では CIDP に対する FcRn 標的薬の適応承認がなされ、免疫グロブリン療法に代わる CIDP の治療として期待されていますが、どのような症例が好適なのかを検討した報告はありません。
研究の方法	本研究では、2010 年 1 月から 2025 年 3 月までの間に当院で CIDP と診断された患者さんの診療録を詳細に検討し、患者の特徴をそれぞれ詳らかにします。その上で、背景となる免疫学的病態に即した治療戦略を検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経内科 (氏名)齊藤 喬 TEL:053-474-2222(代表) 脳卒中科外来 9:00～17:00 平日